

VISTA 1 ユーザーレポート

株式会社新潟放送 様

VISTA 1 - 22

BSN

ラジオ2サブをVISTA 1で更新



株式会社新潟放送
技術局 制作技術部
井上 耕栄

苦節7年目にして

昭和63年の社屋移転で設備したラジオ2サブの音声卓。20年を迎える頃から、毎年更新計画に上がるものの叶わなかったが、ようやく昨年、私が更新計画を担当してから7年目にして、待望の2サブ更新が実現しました。しかも、当時OAサブでは日本初導入となるVISTA 1での更新となった事に、少なからず運命を感じました。

音声卓選定にあたって

2サブは、ほぼ毎日、4時間の生放送があり、それ以外の時間は、編集や収録等で使用するBSNラジオの主要サブです。

音声卓選定のポイントは、

- ①放送の安全性
 - ②音質が優れていること
 - ③イーージーオペレート(技術以外の人でも簡単に操作できる)
 - ④コストパフォーマンスが優れていること
 - ⑤操作性が優れていること(使いやすいこと)
- の5つ。
特に、①と④は相反する条件でもありますが、

VISTA 1はこれを見事に満たしてくれたと思います。制御のI/Oが8つずつと少なめですが、仕様を厳選することで問題なしでした。弊社の納入がOAサブでは日本初導入との事で、実績については少し気になる場所でしたが、弊社はコストパフォーマンスを重視しました。導入当初、若干の不具合が発生はしましたが、スチューダー様の誠意ある早急な対応により、現在は安定運用しております。

②は言うまでもなく、音にうるさい技術屋が、気持ちよくミキシングに没頭できるということ。②と③は順番が微妙ですが、私は技術屋なのでここはこだわったところです。卓更新後、なんと言ってもレコードをかけた時の音が良いのはびっくりしました。まさに、感動ものでした。

③は、弊社では生放送以外、ほとんど技術的な専門知識のない制作スタッフがオペレートするため、ある意味必須でした。VISTA 1は、ややこしい操作は不要で、ただミキシングに集中するだけでよく、制作スタッフからも好評です。

⑤について、特に生放送をメインとする2サブでは、直感的に操作しやすいことが重要です。卓のはっきりとした設計思想により、色分けや各ボタンの基本的な意味を理解すれば、あとはマニュアルなしでも簡単に卓を使いこなせてくれます。

よもやま話

卓更新に7年もかかったこともあり、色々なメーカーも検討しました。また、この間、放送事故に対する意識も変わり、機器故障時は隣のサブに移動してOAという方法ではなく、EMG MIXERに即時切替えてOAを継続できるシステムを組み込む事が要求されるようになりました。

そんな中、スチューダー様は、弊社のコンセプトを理解して頂き、毎年ブレない提案(見積もり)をして下さいました。これが弊社がVISTA 1を採用した一番の決め手だと思います。デモでの、現場の評判が一番良かったのも決め手でした。弊社は当初OnAir 3000での更新を検討していましたが、更新時期が遅くなったおかげ(!?)で、DSPが一体となったVISTA 1での更新となりました。これにより、工事費も若干ながら削減、EMG MIXERに瞬時に切り替わるIF BOXを含むEMGシステムの構築も予算内で可能となりました。

音声卓の更新で、この頃少し元気がなかった制作現場の士気が上がり、この1年で生放送や番組制作が増えた気がします。VISTA 1はBSNラジオの起爆剤!?!、救世主!?!(ちょっとオーバーですが)といったところでしょうか。VISTA 1にはこれからも益々、BSNラジオに貢献してもらいます。